

総務常任委員会記録

令和2年7月17日(金)午前9時58分～午前10時56分(9階908会議室)

○出席委員(9名)

委員長	白川 敏明	副委員長	鈴木 正実
委員	羽田 房男	委員	後藤 善次
委員	高木 克尚	委員	大平 洋人
委員	尾形 武	委員	村山 国子
委員	宍戸 一照		

○欠席委員(なし)

○議題

所管事務調査「人口減少等の社会変化を見据えた持続可能な行政の在り方に関する調査」

1. 委員長報告の素案について
2. その他

午前9時58分 開 議

(白川敏明委員長) ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

議題は、お手元に配付の印刷物のとおりです。

初めに、委員長報告の素案についてを議題といたします。

前回皆様からいただいたご意見を踏まえ、正副委員長手元で委員長報告の案を作成いたしました。なお、案の調整の段階で正副委員長として最新の国の動向や市の取組等、報告に取り入れるべきと考えた事項について、参考資料として配付させていただいております。

参考資料の1は、国において策定を進めている経済財政運営と改革の基本方針、いわゆる骨太の方針の案でございます。ここでは、向こう1年間で国、地方行政のデジタル化に向けて集中的に取り組むとされており、地方自治体のデジタル化、クラウド化の展開などについても盛り込まれております。

次に、参考資料2は第三次福島市地域情報化基本計画の抜粋ですが、提言案にあるクラウド導入の検討についての現時点での市の方針が示されております。

最後に、資料3は市の庁議において報告されたものですが、今後政策調整部と総務部が中心となり、手続きのオンライン化を進めるというプロジェクトの概要であります。市の現状として進めている新たな取組の事例であります。

以上の参考資料にある内容も含め、前回の骨子案から委員長報告案を調製させていただきました。

15分ほどお時間を取らせていただきますので、委員長報告案を黙読いただき、その後ご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、よろしくお願いいたします。

【資料黙読】

(白川敏明委員長) それでは、委員長報告案についてご意見をいただきたいと思っておりますが、協議は自由討議で行いたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【この間自由討議】

(白川敏明委員長) それでは、今日皆様からいただきましたご意見なのですが、2ページの16行、RPAの導入を計画的に進めと直すということによろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) 次に、4ページの8行目、これは検討させてください。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) あとは、5ページにIT弱者を含め、市民サービスの件等をこの辺のどこかに具体例を出して入れるということによろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) あとは、システムの脆弱性を克服しながらという一文をどこかに入れるということで今日はよろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) ありがとうございます。

本日いただきましたご意見を基に正副委員長手元で再度委員長報告案の調整をさせていただき、次回の委員会においてお示しさせていただきます。

それでは次に、その他を議題といたします。

正副委員長からは以上となりますが、そのほか委員の皆様から何かございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) それでは、以上で総務常任委員会を終了いたします。

午前10時56分 散 会

総務常任委員長 白 川 敏 明